

立佞武多の館大規模改修工事に係る施工予定者選定プロポーザル 質問回答書

五所川原市長 佐々木 孝昌

「立佞武多の館大規模改修工事に係る施工予定者選定プロポーザル」に係る質問について、以下のとおり回答いたします。

番号	書類名	該当ページ	質問事項	回答
1	応募要領	2	全体スケジュール(予定)では、工事請負契約締結が「令和6年11月上旬」と読み取れるのですが、参考工程表(工期短縮検討用)には「令和7年1月上旬 工事契約」と記載されています。どちらを現時点のスケジュール予定として認識すればよろしいでしょうか。	現時点のスケジュールで、工事請負契約締結は「令和6年11月上旬」を予定しております。
2	IV参考工程表	1	・2024年度からの残業規制適用もあることから、工程は4週8休で考えてよろしいでしょうか。また、休館は2025年4月～2026年6月(予定)で、2025年8月4日～8日の祭り期間は、立佞武多の出し入れができることが前提条件となるのでしょうか。	お見込みのとおりです。また、展示室に常時3台の立佞武多が展示されており、1階ホールに忠孝太鼓を置いておりますが、7月20日以降に1階ホールで高さ15m程度の中型立佞武多3台の搬入・組立を予定しており、合計6台の立佞武多等が並ぶ予定になりますので、その際は空間確保にご配慮願います。
3	IV参考工程表	2	・参考工程表の注記に、屋外設備機器の製作期間(13か月)は2022年10月時点の情報となっています。最新の納期及び工程は、ECI業務の中で確認・協議するという認識でよろしいでしょうか。	本市としても、そのような認識です。
4	IV応募要領工程表	応募要領3 参考工程表2	工期について、公開された「参考工程表」において、設備機器の納期が製作図作成＋製作で13ヶ月とあります。今回の設計技術協力業務の期間は2024年12月末までとなっており、早くとも設備機器の発注は工事請負契約締結後の2025年1月にずれ込み、工事の竣工引渡時期は2026年8月になると思慮いたします。詳細な機器納期の確認、工程検討はこれから行いますため、その検討結果に合わせて柔軟に御引き渡し時期については協議できるものと理解してよろしいでしょうか。	設備機器の製作に時間を要することが予想されており、実施設計で工事費確定次第、速やかに工事発注を行う予定です。工期については、2026年8月の祭り開催時期までの再オープン、6月下旬の竣工を目指しております。最終的な工程、竣工時期等については、実施設計中に協議します。
5	プロポーザル評価基準	別表1	技術協力業務責任者の「1)施工実績」において、構造は「鉄筋コンクリート造又は鉄骨造」と記載されておりますが、鉄骨鉄筋コンクリート造の施工実績も、評価対象として認めていただけないでしょうか。	鉄骨鉄筋コンクリート造の施工実績についても、評価対象として認定いたします。
6	プロポーザル評価基準	別表1	別表1「2)保有資格」欄の評価内容に記載の「監理技術者」は、「技術協力業務責任者」と読み替えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
7	プロポーザル評価基準	別表1	「技術提案 ウ)五所川原市内事業者の活用に関する提案」において、「五所川原市内建設関連事業者」とありますが、市内事業者とは、五所川原市に本社・支店・営業所がある事業者と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。